Q 〈民法正則議員〉 くまの産業団地

A 〈立花副町長〉

雇用創出を整備目的の柱の一つとして取組んだ。

【Q1】「くまの産業団地」は4区画とも売却されたが、企業進出に伴う町民の雇用の創出、税収の増加等をどの程度見込んでいるのか。

【A1】
企業の雇用計画では、今後10年間で約30名の雇用が見込まれ、今月商工会が開催する就職ガイダンスに参加する企業もある。
税収見込は、固定資産税のうち土地が約1800万円、法人町民税が約100万円。
なお、操業開始から5年間は固定資産税額と同額を企業に助成する制度を設けている。

【Q2】購入した2社の操業時期や事業規模等は。

【A2】
操業時期は、A社は平成28年1月中旬。B社は3月中旬。
従業員数は、A社が新規雇用者6名、内部異動7名の計13名。B社が内部異動10名、1年後新規雇用2名の計12名。
業務内容は、A社は自動車部品の保管、管理、運搬。B社は、印刷機器の組立、梱包、運搬である。

【Q3】産業団地の整備はすべて完了したのか。

【A3】
カーブミラー、道路標示板、道路照明を今後発注する。

【Q4】峠越え県道は、いつから町道へ移管か。

【A4】
平成28年4月1日に移管予定である。

Q 放課後児童クラブの入会基準等

尺田 耕平議員

A 〈三村町長・清代民生部長〉

入会基準の緩和も含め利用者視点に立った事業となるよう検討する。

【Q1】求職中の場合、保育所は、証明書を提出すれば、3カ月間は入所できるが、放課後児童クラブにおいては入会ができないのはなぜか。

【A1】
放課後児童クラブは、開始時間が午後2時半からであるため、求職活動を妨げないとの考えで、入会を認めていない。
必要に応じて、ファミリーサポート事業を勧奨している。

【Q2】放課後児童クラブ利用（3千円／月）に対し、ファミリーサポート事業の利用（500円／1時間）は、求職中の保護者にとって経費的な負担が大きいのでは。

【A2】
料金と求職中との関係、課題について、検討したことはない。

【Q3】利用者の約7割が町外勤務だが、終了時間（18時）の延長は。

【A3】
利用者からの要望は少ない（今年度1件）ので、踏み込んだ検討はしていない。

【Q4】2人目・ひとり親家庭の減額については。

【A4】
町民税非課税世帯の保育料と同額であり減額をしていない。

【Q5】放課後児童クラブと保育所の入所基準を揃えるべきでは。

【A5】
幼児期から学童期に至る子どもの健全育成、働く保護者へ対する子育て支援等、各種サービスと併せ、利用者視点に立った事業となるよう引き続き検討する。

民生部門

Q 放課後児童クラブ支援員の資質向上

沖田ゆかり議員

A 〈三村町長・清代民生部長〉

支援員の資質を高め保育環境の充実を図る。

【Q1】熊野町子ども・子育て支援事業計画には、支援員等への研修の推進、町内各クラブ間の情報交換の推進、児童中心の運営マニュアルによる支援員の資質の向上に努め、各児童クラブが均質でかつ質の高い保育を行えるよう努めるとあるが、現状を伺いたい。

【A1】
マニュアルをもとに全員研修を年2回実施している。
基本的な運営方法や事故等があった場合の危機管理体制について研修を行っている。
また、主任を対象に連絡会議を3カ月に1回行い、クラブ間の情報交換を行っている。

【Q2】本や遊具等の備品を充実してほしいという要望があるが、町はどのように考えているのか。

【A2】
現場で働いている支援員の声を反映しながら引き続き充実させていきたい。

【Q3】雨の日には、子どもたちが校庭に出られないため、体育館を使用できないか。

【A3】
学校施設を借りる場合、教育委員会、学校とも調整が必要となる。
今後の検討課題としたい。

Q 町内の河川の防災システム！

時光 良造議員

A 〈三村町長・森本建設部長〉

水位計の増設を検討する。

【Q1】広島県河川防災システムと町内の河川の管理体制は。

【A1】
町内の県管理の3河川の内、二河川のみ同システムにより常時水位観測を行っている。
町管理の河川は、熊野町水防計画に基づき雨量が基準に達した場合、3地点で独自に推移観測を行っている。

【Q2】浚渫や護岸整備等の基準は。

【A2】
県管理河川の浚渫は、支障のあるものは町から県に要望し適宜対応いただいている。
町管理の河川は、人命や財産に危険性のある所から順次行っている。
本町のこれまでの護岸整備は、災害復旧事業として実施してきた。

【Q3】ハザードマップに二河川しか掲載していないのはなぜか。

【A3】
本町で浸水想定区域図が策定されているのは二河川のみであることから、その他の河川では作成していない。

【Q4】町内を流れる二河川以外の二級河川についても水位観測等の何らかの対応を願いたい。

【A4】
熊野川についても水量計の設置をできるように県に働きかけていきたい。